

平成19年10月29日

各 位

会 社 名 住友信託銀行株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 森田 豊
 コード番号 8403
 問 合 せ 先 広報室 03-3286-8146
 IR室 03-3286-8354

平成20年3月期 中間期及び通期の業績予想ならびに配当予想の修正について

平成20年3月期 中間期及び通期の業績予想(連結・単体)ならびに配当予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成20年3月期 業績予想(連結・単体)

(1) 中間期 (億円)	連結			単体		
	経常収益	経常利益	中間純利益	経常収益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	4,800	900	550	2,800	750	450
今回予想 (B)	5,200	610	380	3,200	430	320
増減額 (B-A)	+400	△290	△170	+400	△320	△130
増減率	+8%	△32%	△31%	+14%	△43%	△29%
(参考)前年度	3,877	991	639	2,672	859	554

(2) 通期 (億円)	連結			単体		
	経常収益	経常利益	当期純利益	経常収益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	9,800	1,850	1,200	5,800	1,550	1,000
今回予想 (B)	10,600	1,500	900	6,500	1,200	800
増減額 (B-A)	+800	△350	△300	+700	△350	△200
増減率	+8%	△19%	△25%	+12%	△23%	△20%
(参考)前年度	8,533	1,701	1,038	5,584	1,345	818

(3) 修正の理由

中間期につきましては、要注意先に区分されている一部の業種に対する引当強化、ならびに海外クレジット市場の混乱への対処により生じた貸出金売却損等により、与信関係費用が前回予想を上回ったことを主因として、経常利益・中間純利益が前回予想を下回る見込みとなったものです。

通期の業績予想につきましては、中間期の業績推移に沿って見直したものであります。

2. 平成20年3月期 配当予想(1株当たり配当金)

(円)	中間期末	期末	年間	連結配当性向
前回予想 (A)	9.0	9.0	18.0	25.1%
今回予想 (B)	8.5	8.5	17.0	31.5%
増減額 (B-A)	△0.5	△0.5	△1.0	+6.4%
増減率	△6%	△6%	△6%	
(参考)前年度	8.5	8.5	17.0	27.4%

配当予想につきましては、通期の連結当期純利益予想の修正に伴い、年間配当を前年度実績と同額の1株当たり17円(連結配当性向約32%)、中間配当はその2分の1に相当する1株当たり8円50銭の予想に修正させていただきます。

以上

本資料に含まれる予想は、当社の経営方針・財政状態を踏まえつつ、本日時点で判明している情報に基づいて作成されたものであります。実際の業績、その他の計数は、平成20年3月期中間決算の確定時点まで、各種要因によって変動する可能性があります。

(参考)

1. 平成20年3月期 業績予想(中間期及び通期)の概要

- (1) 中間期の単体の与信関係費用につきましては、要注意先に区分されている一部の業種に対する引当強化(影響額 約△300 億円)、ならびに、米国サブプライム問題に端を発する海外クレジット市場の混乱への対処により生じた貸出金売却損等(約△90 億円)により、前回予想比△250 億円悪化の△350 億円となる見込みです。
- (2) 中間期の単体の実質業務純益につきましては、年金や投資信託受託等の信託事業や不動産事業を中心に、手数料収入は順調に推移しましたが、マーケット資金事業における市場性収益が計画を下回る結果、前回予想の850 億円に対し810 億円となる見込みです。
- (3) 通期業績予想につきましては、中間期の業績推移に沿って見直したものです。

【連結】 (億円)	中間期			通期		
	前回予想 (A)	今回予想 (B)	増減額 (B-A)	前回予想 (A)	今回予想 (B)	増減額 (B-A)
実質業務純益 (注1)	1,050	1,030	△20	2,200	2,150	△50
経常利益	900	610	△290	1,850	1,500	△350
当期(中間)純利益	550	380	△170	1,200	900	△300

【単体】 (億円)	中間期			通期		
	前回予想 (A)	今回予想 (B)	増減額 (B-A)	前回予想 (A)	今回予想 (B)	増減額 (B-A)
実質業務純益 (注2)	850	810	△40	1,800	1,750	△50
与信関係費用 (注3)	△100	△350	△250	△250	△500	△250
経常利益	750	430	△320	1,550	1,200	△350
特別損益	0	90	+90	100	100	0
当期(中間)純利益	450	320	△130	1,000	800	△200

(注1) 単体の実質業務純益+他の連結会社の経常利益(臨時要因調整後)+持分法適用会社の経常利益(臨時要因調整後)×持分割合-内部取引(配当等)。

(注2) 業務純益から信託勘定不良債権処理額及び一般貸倒引当金純繰入額を控除した額。

(注3) 不良債権処理額(銀行勘定・信託勘定合計)から貸倒引当金戻入益を控除した額。

(注4) 金額が損失または減益の項目には△を付しております。

2. 金融再生法開示債権(銀行勘定・信託勘定合計、部分直接償却後)

【単体】	(億円)	
	19年3月末 実績	19年9月末 予想
開示債権比率	1.0%	0.8%程度
金融再生法開示債権	1,176	1,000
総与信	120,839	122,000
要管理債権以外の要注意先債権	7,339	7,500

3. 「その他有価証券(時価のあるもの)」の評価損益

【単体】	(億円)	
	19年3月末 実績	19年9月末 予想
その他有価証券	4,957	3,650
(うち株式)	5,065	4,200
(うち債券)	△35	△50
(うち外国債券)	△195	△600

4. 海外クレジット投資全般の状況(19年9月末)

①有価証券(時価のあるもの)

【単体】

(億円)

	時価			評価損益 (7月末)
	(7月末)	うち北米	うち欧州	
資産担保証券	6,100 (5,692)	2,510	3,570	△ 220 (△31)
RMBS(住宅担保)	2,260 (2,340)	120	2,130	△ 50 (△ 6)
CMBS(商業用不動産担保)	320 (343)	—	320	△ 10 (△ 1)
CLO(法人向けローン担保)	2,190 (1,517)	1,620	570	△ 40 (△ 8)
Cards(クレジットカード債権担保)	750 (822)	610	140	△ 20 (△ 3)
その他	570 (670)	160	410	△ 100 (△12)
社債 (注1)	3,210 (3,125)	140	1,250	△ 50 (△4) [△ 60] [△58]

(注1)「社債」の評価損益は△60億円ですが、「社債」の取得に伴い取り組んだ金利スワップの評価益が約10億円ありますので、実質的な評価損益は△50億円となります。

(注2)このほか、当社連結子会社であるSTB Omega Investment Ltd.(当社持分75%)が北米の非上場外国証券(法人向け貸出債権担保証券)約80億円(評価損益約△30億円)を保有しています。(時価、評価損益とも速報ベース)

②貸出金及び有価証券(時価のないもの)

【単体】

(億円)

	残高		
	(7月末)	うち北米	うち欧州
法人向けローン	3,860 (4,790)	2,350	840
非上場外国証券(注3)	1,020 (949)	980	20

(注3)時価のないCLO債券、CLOエクイティ、プライベート・エクイティ等。

以上